

# 森のおくりもの 2月



## 冬芽



イラスト：井上伸子（青葉区）

1月は寒い日がけっこう多かったのですが、2月もまだまだ寒さは続きそうです。自然観察の森では、純白の雪が積った散策路に青白い木々の陰が縞になり、空に架かる梯子のように見えております。そんな真冬の森を楽しんでみませんか。  
(菊池)

# 花のように葉をひろげる 「ロゼット」



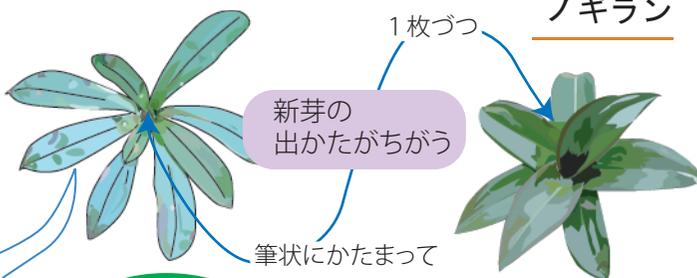
ロゼットとは、葉が放射状に広がった状態を表す言葉です。

雪が解けると顔をだす、葉をめいっぱい地面に広げた葉っぱ。冷たい風があたらないように、たくさん太陽の光が当たるようにと。今回はそんな葉を広げた「ロゼット」を紹介します。

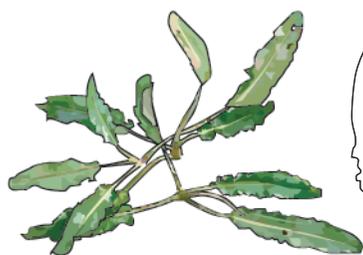
## ショウジョウバカマ

中央に芽が2つある場合大きい方は花に、小さい方は葉になります。今見られる葉芽はいつひろくかな？

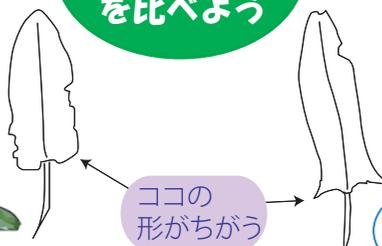
下の層は一昨年つくられた葉  
その上の層は昨年つくられた葉



## 似ている ロゼット を比べよう



ギシギシ



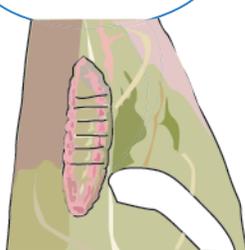
スイバ

## こんなのがいることも・・・



春になると  
こんなチョウになるよ

幼虫はワラジ  
みたいな形だよ



スイバやギシギシには、1センチくらいの越冬しているベニシジミの幼虫がいることもあります。虫食いの痕が残っている葉を見つけたら、葉の裏や葉柄を探してみましよう。葉の色にあわせてピンク色や緑色をした春を待つ幼虫が見つかるかもしれませんよ。

【レンジャー：黒川 周子】

\* ショウジョウバカマのロゼット葉は一年中みられますが、ノギリの葉は春～秋にみられます。



(シジュウカラ)

# 2月の生き物情報



(ヤマガラ)

今年は森全体を見回しても野鳥が少ないのか、なかなか出会うことが出来ません。昨年1月には頻繁に見ることが出来たキクイタダキにもまだ今年はあることができません。他にもツグミ、アカハラ、シメなどなど。

餌台でも常連のシジュウカラ、ヤマガラ、スズメなどが主で他の鳥はなかなか餌台には来てくれないようです。2月以降たくさんの野鳥たちが来てくれることを期待しています。

植物ではツノハシバミの雄花、マンサクの花芽があまり目につかないことが気になります。  
【レンジャー： 齋 正宏】

## 餌台の様子



## みんなで自然観察

イベント報告  
フィールドサイン

1月21日は早朝から粉雪が降っており、昼行性のニホンリス以外の足跡は、ほとんど雪に被り隠されていました。数日前までは辺り一面テンの足跡だらけで、様々な歩行パターンを観察できました。また、雪の下の土を掘った跡や糞なども多数あり、これらが見られなかったのがとても残念でした。カモシカ、タヌキ、トウホクノウサギの足跡も、何だかわからない小さな窪みとなっていました。林内はそれほど雪は多くなかったですが、リスの食痕のついたオニグルミを探すには少し苦労しました。それでも、齧り痕の異なるいくつかのクルミを見つけ、比べることができました。食べ残された種子から発芽したクルミの若木も見ることができました。笹藪に入ると、リスの足跡とクリの食痕が見つかりました。クリはどこかに貯蔵しておいたものだと思います。足跡は鮮明で、散らばったクリの皮の破片も雪を被っていないため、ほんの少し前の出来事だったことがうかがえました。きっと、リスはすぐ近くにいたはずです。昨年にも見たリスの球状巣は、もう長いこと使われていなかったようで、かなり崩れていました。おかげで、今回は巣の内部にスギの樹皮が詰め込んである様子をよく観察することができました。笹川の崖にできた隙間には、アカネズミの食痕のあるクルミが3個ありました。近くにクルミの木があるので、ここでは毎年見つけることができます。ところで、今年の冬は、イノシシが活動した痕跡をほとんど見ていません。来たら来たで邪魔者扱いされるイノシシですが、まったく来なくなると、なぜかみんな少し寂しそうです。

どこに埋めたか  
忘れちゃった…



ニホンリス

植えてくれて  
ありがとう！



オニグルミの  
冬芽と葉痕

ニホンリスの冬の主な食物は、秋のうちに貯蔵しておいた木の実や種子などです（貯食行動）。土に埋めたり木の枝に挟んでかくしておきます。埋められた種子のうちのごくわずかが食べ残され芽吹きます。リスやネズミ、カケスなどに運ばれることで、種子は親植物から離れた場所で芽吹くことができます。

【レンジャー：林 義雄】

シマリスは冬眠しますが、ニホンリスは冬でも元気に走り回っています。

## 冬の森からのおくりもの



1月は例年よりも寒い日が続いたように思います。また、雪降りの日も多かったことから、園内の散策路はもちろんのこと自然観察センターの前や周りも真っ白な雪で覆われております。さらに、2月は1月以上に寒い日が続くことが例年の状況から十分に予想されます。

そんななかでも自然観察の森の生きものたちは、それぞれのフィールドで元気に活動し、また冬越しをしております。特に、動物たちはたくさんの足跡を真っ白な雪の上に残してくれております。当センターのレンジャーによれば、今年はその中でもテンの足跡を多く見ることができるとのことです。そのほかにも、リス、タヌキ、カモシカ、イノシシなどの足跡も見ることができます。さらに運が良ければカモシカなどに直接遭遇することも期待できます。実際、1月中にもカモシカに遭遇した方がおり情報をいただいております。

また、毎週日曜日の午前10時から当自然観察センターで開催（4月から11月までは午前、午後の2回）しております「ガイドウォーク」でもこうした動物の足跡をたくさんご案内できるかと思います。ぜひ参加してみてください。さらに、12月から自然観察センターに隣接して設置しておりますバードテーブルには、色とりどりの鳥たちがたくさんやってきており、センター内から窓越しにご覧いただけるようになっております。ぜひこちらもお試しいただければと思います。

真冬だからこそ、この太白山自然観察の森を大いにご活用していただき、皆様に自然の中で癒され、やすらぎ、楽しんでいただけますようお願いしております。



「冬の森の小さな風景」

（コケ先のまんまる水玉ビーズ）

【館長：菊池正行】

# 2月の催し

**申** し込み⇒ 7日9時から電話で受付

**2/25(土)**

10:00~11:30

## 『冬芽かんさつ会』

雑木林で冬芽の観察をします。



**申**

【定員】 20名  
【持ち物】

暖かく動きやすい服装  
雨具

## 『第10回みんなでつくる里山あーと展』

### 作品募集

**2/1  
~ 26**

テーマ: 仙台市近郊の自然や野生の動植物に関するもの

募集期間: 24年2月1日~26日

募集内容: 【写真の部】 2Lサイズ5点以内

【絵画の部】 10号以下の作品2点以内

【クラフトの部】 2点以内



展示期間: 24年3/7~3/29(センター研修室にて)

\* 作品はお返しします。

★ 詳細は観察センターまでお問い合わせください。

**日曜  
は**

## 『ガイドウォーク』の日!

2月のテーマは『森とけものたち』です

**5日, 12日, 19日, 26日**

10:00~11:30

\* 申し込みの必要はありません。  
センター前にお集まりください。

\* 12月~3月まで午前だけのガイドです。



**休館日**

6日, 13日, 20日, 27日

### ♪ 森へおいでください ♪



#### 宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



#### 車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



### 定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2012年2月号(毎月1回5日発行)

発行: (財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

\* 「社のひろば」のURLにカラーで「森のおくりもの」が載っています。→<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>